

超音波洗浄器

HZ380・HZ630

取扱説明書

このたびは、超音波洗浄器をお買いあげいただきましてありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつもお手元においてご利用ください。

目 次

■安全上のご注意	1
■各部の名称	5
■使い方	6
■ご使用上の注意	8
■お手入れ	9
■トラブルシューティング	9
■修理サービス	9
■保証	9
■仕様	10

安全上のご注意 **必ずお守り下さい**

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警 告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注 意	誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、本装置のみならず他の機器類、設備への拡大損害を示します。

●図記号の説明

	注意（警告を含む）
	発火注意
	感電注意
	禁止（してはいけないこと）
	火気厳禁
	接触禁止
	分解禁止
	指示（必ず守ること）
	電源プラグをコンセントから抜く
	必ずアース線を接続する

*具体的な注意内容は、図記号の近くに文章や絵で示します。

安全上のご注意

警告



HZ380は交流100Vアース付き2Pコンセントで使用する。
HZ630は交流200V **単相**アース付き2Pコンセントで使用する。

- ・消費電力は仕様の欄に記載してあります。
- ・容量の確保できる電源を使用してください。
- ・アースを接続しないと、火災や漏電、故障の原因になります。
- ・三相電源から2線引出しをすると、故障の原因になります。



プラグをコンセントから抜くときは、濡れた手で抜き差ししない。
・感電やけがをする恐れがあります。



スイッチ類は、濡れた手で操作しない。
・感電やけがをする恐れがあります。



揮発性の洗浄液などを使用する際は、室内の換気に充分注意する。
・中毒など人体に悪影響を及ぼす危険があります。



可燃性の液体やガスの近くでは絶対に使用しない。
・引火、爆発、火災の危険があります。



屋外に設置しない。
・火災や感電、故障の原因となります。



中性洗剤や弱アルカリ性以外の洗浄液は絶対に使用しない。
・有機溶剤を使用すると、破損や火災、爆発の恐れがあります。
・酸や強アルカリなどの薬品を使用すると、破損や故障の原因になります。
・本機の材質は使用の項目に記載しています。
・洗浄液のメーカーにご確認の上ご使用ください。



本体内部にピンなどの金属物や異物を入れない。
・感電やショート、故障の原因となります。



本体外部に水をかけない。また、洗浄槽から水をあふれさせない。
・ショート、感電、火災の原因になります。



改造や自分での修理は絶対にしない。
・火災や感電の原因となります。
・修理は販売店にご相談ください。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
・ショート、感電、火災の原因になります。



電源コードにピンやコミを付着させたまま使用しない。
・ショート、感電、火災の原因になります。



洗浄槽に水が入っていない状態では絶対に使用しない。(空焚き)
・異常過熱し、やけどや故障の原因になります。
・目安としては、洗浄槽上部より10cm位下になるようにしてください。



ヒータON(温度設定OF以外)したまま排水しない。
・異常過熱し、やけどや故障の原因になります。
・必ず、電源スイッチをOFFにしてから排水してください。

安全上のご注意

⚠ 注意



使用中や使用直後に高温部（洗浄槽）に触れない。
・やけどの恐れがあります。



使用後は、必ず電源スイッチをOFFにする。
・絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



過電流防止器が作動したときは、動作確認をする。
・過電流防止器が作動したときは、過負荷、回路のショート等が考えられます。
・過電流防止器が時々作動する場合は故障ですので使用を中止し、販売店にご相談ください。



長期間使用しないときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜く。
・絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



運転中に電源プラグをコンセントから抜かない。
・ショート、感電、火災の原因になります。



電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
・ショート、感電、火災の原因になります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。
・絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



排水口につまる恐れのあるゴミは流さない。
・排水ができなくなります。



落下させたり、倒したりしない。
・破損や故障の原因になります。



傾いた所に置かない。
・水漏れや故障の原因となります。



振動の激しい所に置かない。
・故障の原因になります。



高温になる所、直射日光の当たる所に置かない。
・故障の原因になります。



湿気や埃の多い所、腐食性ガスが発生する所などに置かない。
・ショートや発熱により感電や火災、故障の原因になります。
・破損や故障の原因になります。



火気を近づけない。ストーブなどの近くには置かない。
・火災や変形の原因になります。



55℃以上のお湯は使わない。
・故障の原因になります。

安全上のご注意

注意



非常に重い洗浄物を入れない。
洗浄槽の縁に重い物を乗せない。
・洗浄槽や洗浄カゴが破損する恐れがあります



操作スイッチを強く押さない。
・故障の原因になります。



本体側面および背面の放熱口をふさがない。
・異常加熱し、故障の原因になります。



洗浄物は必ず付属の洗浄カゴに入れて使用する。
・洗浄物を直接入れると洗浄槽を痛める恐れがあります。



ガラスやアルミなどを洗浄するときは、破損の恐れがあるので注意する。
・傷を付けたり、破損の恐れがあります。
・損なってもよい同等品で、あらかじめ試し洗浄をしてください。



漆器や金箔を施した食器、貴重品、鼈甲、貝細工、真珠などは洗浄しない。
・傷を付けたり、破損の恐れがあります。



水で洗うことのできないものは洗浄しない。
腕時計など生活防水規格の製品は洗浄しない。
・内部に水が侵入し故障の恐れがあります。



洗浄中に異常が発見された場合は、直ちに使用を中止する。
・感電や火災の原因になります。
・販売店にご相談ください。



超音波洗浄器は精密部品を内蔵していますので、取扱いには充分注意してください。



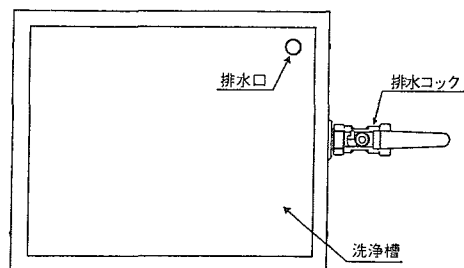
使用前には電源コードの接続部など、汚れや水分が付着していないことを確認してください。
又、使用中は動作を絶えず監視してください。



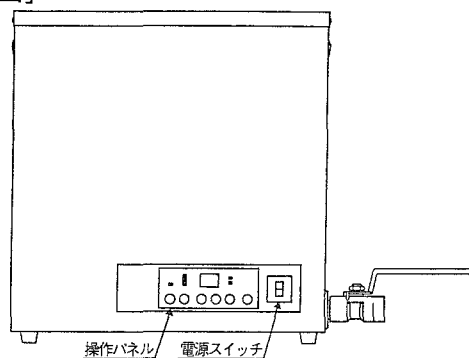
使用後は本体、洗浄槽、電源コードなどの汚れを落としてください。

各部の名称

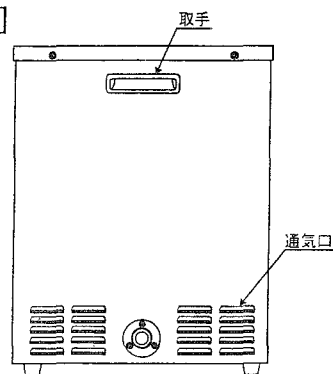
[上部]



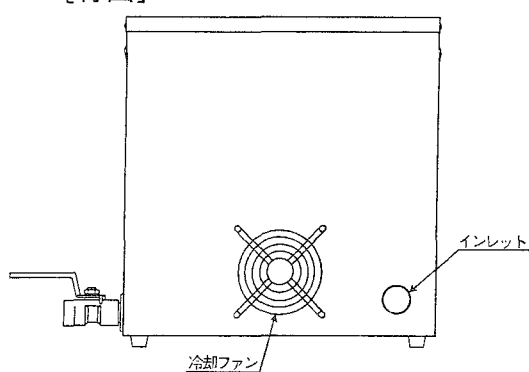
[前面]



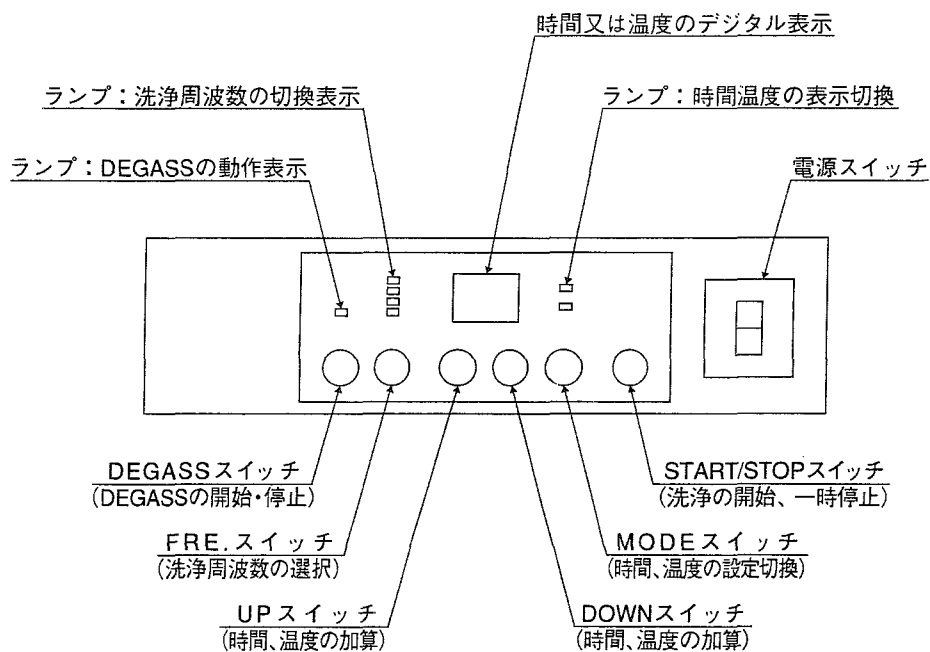
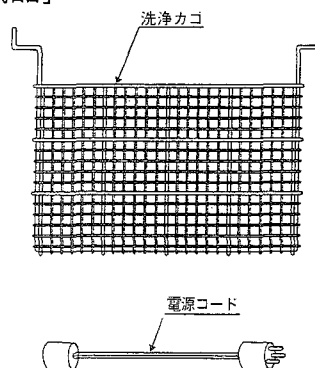
[側面]



[背面]



[付属品]



使い方

1. 設置場所

設置場所は機器の性能、寿命などに大きく影響します。
設置に当たっては次のような点にご注意ください。

- 室内に設置してください。
- 高温や湿気、埃のない場所へ置いてください。
- 周囲に可燃性の液体ガスなどがない場所に設置してください。
- 周囲に腐食性ガスなどがない場所に設置してください。
- 水のかからない場所へ設置してください。
- 風通しの良い場所へ設置してください。
- 水平で振動や衝撃のないしっかりとした場所へ設置してください。

2. 準備

- (1) 排水ホースの接続
 - ・必要に応じて本体側面の排水口へホース等を接続してください。
- (2) 電源コードの接続
 - ・電源コードの電源プラグをアース付2Pコンセントに、必ず単独で確実に差し込んでください。
 - ※HZ630は必ず単相200Vのコンセントに差し込んでください。
- (3) 水張り
 - ①本体側面の排水コックを閉めてください。
 - ②洗浄槽に水を入れます。
 - ※注意 ・洗浄物を入れた時に洗浄槽から水があふれないように水位を調節してください。
 - ・目安としては、洗浄槽上部より10cm位下になるようにしてください。
- (4) 洗浄物を入れます。
 - ・洗浄槽に必ず付属の洗浄カゴを入れて使用してください。

◆ 間接洗浄について

有機洗剤や強酸、強アルカリ性の洗浄液をご使用されると、故障や引火、爆発、火災の恐れがあります。
やむをえず使用する場合はこれらの液をビーカーなどの容器に入れ、その容器を洗浄槽の水に沈めて洗浄を行うと、超音波が容器に伝搬され間接的に洗浄することができます。

- ※注意 ・間接洗浄をする際は必ず洗浄カゴの中に容器を置いて行ってください。
- ・容器などは直接洗浄槽の底に置かないでください。
- ・火気や換気に充分注意してください。

3. 運転

◆ 洗浄の開始

- ①本体正面の電源スイッチをONにします。
- ②前回最後に設定されていた周波数と時間(分)が表示されます。
メモリー機能により最後に設定した洗浄時間・温度・周波数が記憶されています。
- ③設定を変更する必要がない場合は、この状態でSTART/STOPスイッチを押します。
- ④洗浄が開始されます。
- ⑤洗浄を一時停止する場合は、START/STOPスイッチを押してください。
- ⑥再びSTART/STOPスイッチを押すと洗浄が再開されます。

◆ 洗浄時間の設定方法

- ①デジタル表示が時間(TIME)になっていることを確認してください。
 - ②時間を増やしたい時はUPスイッチを押してください。
 - ・1回押すごとに1分ずつ時間が加算され、最大99分まで設定できます。
 - ・押し続けると時間の加算が早送りできます。
 - ③時間を減らしたい時はDOWNスイッチを押してください。
 - ・1回押すごとに1分ずつ時間が減算されます。
 - ・押し続けると時間の減算が早送りできます。
 - ④設定が終わったら、この状態でSTART/STOPスイッチを押します。
 - ・洗浄中にUP/DOWNスイッチを押しても時間を変更することができます。
- ※注意 ・工場出荷時は50分に設定されています。

使い方

◆ 洗浄温度の設定方法

- ①MODEスイッチを押して、表示を温度設定（TEMP・点滅）に切替えます。
- ②温度を上げたい時はUPスイッチを押してください。
 - ・1回押すごとに1℃ずつ温度が加算され、20～55℃まで設定できます。
 - ・押し続けると温度の加算が早送りできます。
- ③温度を下げたい時はDOWNスイッチを押してください。
 - ・1回押すごとに1℃ずつ温度が減算されます。
 - ・押し続けると温度の減算が早送りできます。
- ④設定が終わったら、この状態でMODEスイッチを押すと、現在温度（TEMP・点灯）に切替ります。
 - ※注意 ・工場出荷時はOF(OFF)に設定されています。
 - ・OF以外はヒータONになります。使用しない時は必ずOFにしてください。

◆ 洗浄周波数の設定方法

- ①周波数を変更したい時はFRE.スイッチを、希望のランプが点灯するまで押してください。
└─[28]→[40]→[28↔40]→[28+40]─┘ kHz
- ②設定が終わったら、この状態でSTART/STOPスイッチを押すと洗浄が開始されます。
 - ・洗浄中にFRE.スイッチを押しても、設定を変更することができます。
 - ※注意 ・工場出荷時は28+40kHzに設定されています。

◆ 2周波交互運転の切換時間設定方法

- ①周波数の切換時間を変更したい時はFRE.スイッチで[28↔40]のランプを点灯させてください。
- ②MODEスイッチにて[28↔40]のLEDが点滅する状態まで数回押してください。その状態でUP・DOWNスイッチにて交互運転切換時間を設定してください。設定は1分きざみで最大99分です。
- ③設定が終わったら、この状態でSTART/STOPスイッチを押すと洗浄が開始されます。
 - ・洗浄中にも設定を変更することができます。
 - ※注意 ・工場出荷時は1分に設定されています。

◆ 運転の終了

- ①洗浄時間が終了すると、設定されている時間を表示した状態で待機になります。
 - ・この状態でSTART/STOPスイッチを押すと再び洗浄を開始することができます。
- ②運転を終了する場合は電源スイッチをOFFにしてください。

4. 排水

◆ 運転終了時および水の入れ換え時

- ①本体側面の排水コックを開けて排水してください。
- ②排水が完了したら排水コックを閉めてください。
 - ※注意 ・排水する時は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

5. 機能

◆ DEGASS（脱気）

洗浄液中からガスを除去することをディガスといいます。
洗浄液を取り替えたときや補充したとき、1日以上運転せず洗浄液を入れておいたときはディガスを行ってください。ディガスを行わないと十分な洗浄効果が得られない場合があります。
ディガススイッチを押すとランプが点灯し脱気運転が開始されます。
脱気運転時間は約2分です。
途中で脱気運転を中止したい場合はもう一度ディガススイッチを押してください。
脱気運転中は洗浄液や洗浄物を入れないで行ってください。

◆ 安全装置

- ・本機の電源スイッチは過電流防止器を兼ねています。
- ・サーモスタットを内蔵していますが、あくまでヒータ保護用です。
- 排水する時や長時間使用しない時は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

ご使用上のご注意

- ◆ 超音波洗浄器を設置するときには、次の事項にご注意ください。
 - 超音波洗浄器は電子部品を内蔵していますので、絶対に丸洗いしないでください。
 - 水の流れている場所や、しぶきのかかる場所でのご使用はおやめください。
 - 湿度、湿気、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。
 - 洗浄液を用いた上で洗浄器を使用される場合は、室内の換気に充分ご注意ください。
 - 傾斜のない、又、振動衝撃のない場所に安定状態にして設置してください。
 - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないでください。
 - 本体の一部にプラスチック等が使われています。レンジやストーブ等の熱源に近づけないでください。
- ◆ 超音波洗浄器を使用する前には、次の事項にご注意ください。
 - スイッチの接触状況の点検を行い、機器が正常に作動することを確認してください。
 - 超音波洗浄器は必ず適正電圧の範囲内でご使用ください。これ以外の電源で使用しますと、故障・破損・火災・感電の原因となります。
 - アースは必ず取ってください。
 - 洗浄槽に水(液)がない状態での空焚きは絶対にしないでください。電子部品の劣化を早めたり、破損の原因となります。
 - 洗浄液を洗浄槽よりあふれさせないでください。故障の原因となります。
 - 可燃性、毒性のある有機溶剤はご使用にならないでください。洗浄液は、決められたものを使用してください。
 - 本体の一部にプラスチック等が使われています。洗浄液に有機洗剤を使用しますと、洗剤によっては損傷を生じる場合があります。
 - 有機洗剤や強酸、強アルカリ性の洗浄液をやむをえずご使用される場合は、これらの液をビーカーなどの容器に入れ、その容器を洗浄槽の液(水など)に沈めて間接洗浄を行ってください。この際、有機洗剤などが本体にかからないように注意してください。又、火気や換気に充分注意してください。
 - 貴重品、鼈甲、貝細工、真珠などは洗浄しないでください。表面を傷つけたり、結合部がゆるむ場合があります。
- ◆ 超音波洗浄器の使用中は、次の事項にご注意ください。
 - 超音波洗浄器全般を絶えず監視してください。
 - 超音波洗浄器に異常が発見された場合には、機器の動作を止めるなど適切な措置を講じてください。
- ◆ 超音波洗浄器の使用後は、次の事項にご注意ください。
 - 定められた手順により操作スイッチを使用前の状態に戻した後、電源を切ってください。
 - コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなどの無理な力をかけないでください。
- ◆ 保管場所については、次の事項にご注意ください。
 - 水のかからない場所に保管してください。
 - 湿度、湿気、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管してください。
 - 風通しのよい場所に保管してください。
 - 傾斜のない、又、振動衝撃のない場所に安定状態にて保管してください。
 - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。
 - 付属品、コード類などは、清浄にした後、整理してまとめておいてください。
- ◆ 超音波洗浄器は精密部品を内蔵していますので、ご自分で修理や分解をすることは絶対におやめください。
- ◆ 保守・点検。
 - 超音波洗浄器は必ず定期的に各部の動作状況を確認してください。
 - しばらく使用しなかった場合は、使用前に必ず超音波洗浄器が正常かつ安全に動作することを確認してください。

お手入れ・トラブルシューティング・修理サービス

お手入れ

- お手入れの前に本体や洗浄槽が熱くなっていないことを確認してください。
- 本体の汚れはぬるま湯か中性洗剤を含んだよく絞った柔らかい布できれいに拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、ベンゾール、アルコール、化学ぞうきんやミガキ粉などで拭かないでください。
- ステンレスの洗浄槽は錆びにくい性質をもっていますが、次のような場合には錆が発生することがありますのでご使用後は柔らかい布で洗浄槽をきれいに拭いてください。
※錆びやすいものが槽に残っていたとき
※赤錆の混じった水を使用し、赤錆が残っていたとき
※異物などで槽が傷ついたとき
※長時間槽に水を入れて放置したとき

トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記のことを確認してください。
それでも正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。

★洗浄槽に水が溜まらない。

＊排水コックが開いていませんか？

★電源スイッチが入らない。

＊電源プラグをきちんと差し込んでいますか？

★START/STOPスイッチを押しても洗浄が開始されない。

＊電源スイッチがOFFになっていませんか？

★洗浄中に洗浄槽や本体にさわるとしびれる。

＊電源プラグがアース付2Pのコンセントに接続されていますか？

内蔵ノズルフィルタが本体に接地されているので、微弱ながら電流が流れます。事故防止のため必ずアース付3Pのコンセントに接続してください。

又、アースを取ってあっても、超音波により洗浄槽が振動していますので、しびれを感じますがこれは異常ではありません。

★水温が設定温度より高い。

＊水温より低い温度設定をしても、ヒータ加温方式のため冷却はできません。

又、温度設定OF(OFF)でも超音波振動により水温が上がる場合がありますが、異常ではありません。

修理サービス

- ご使用中に異常が生じたときは、電源スイッチをOFFにしてから差込プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご相談ください。その他ご不明の点は、お買いあげの販売店または、販売元にご相談ください。
- 指定電圧のアース付きコンセント以外でお使いになったとき及び、取扱説明書による使用方法以外の故障は、保証期間内でも原則として有料修理になります。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたしますその他詳細は、保証書をご覧ください。
- 製品を取り出した梱包箱は、修理のため弊社に返送していただく際に必要となります。折り畳んで大切に保管してください。

保証（保証書）について

- 保証書は、内容をよくお読みになった上で大切に保管してください。
- 万一故障した場合は、保証書記載内容により保証致します。保証期間はお買い上げ日から1年間です。

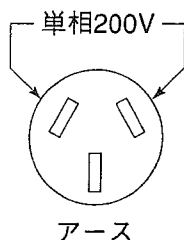
仕様について

機 種 名	HZ380	HZ630
外 形 寸 法	450×370×460	550×470×460
槽 内 寸 法	400×320×300	500×420×300
槽 容 量	38リットル	63リットル
槽 材 質	SUS304	
本 体 材 質	SUS304 (焼付塗装)	
発 振 方 法	PLL自動追尾方式	
発 振 子	BLT×16本	BLT×22本
高 周 波 出 力	MAX800W	MAX1100W
発 振 周 波 数	28kHz／40kHz	
ヒ ー タ ー 容 量	650W	1300W
タイマー設定範囲	1～99分 (1分単位)	
温度設定範囲	20℃～55℃ (1℃単位)	
周 波 数 設 定	28kHz・40kHz・28／40kHz同時・28／40kHz交互	
排 水 方 法	手動排水バルブ式	
重 量	23kg	32kg
電 源 電 圧	AC100V50／60Hz	AC200V 1φ (単相) 50／60Hz
電 源 ケ ー ブ ル	アース付き2P	3P 20A 250V (※注)
付 属 品	洗浄カゴ	

改良のため仕様及び外観を予告なく変更することがあります。

※ 注

HZ630は、図のコンセントに接続してください。



アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは■

カスタマー相談センター

フリーダイヤル 0120-700-875

FAX 0120-700-763

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土 日・祝日及び弊社休業日はご利用できません